



三高同窓会 会報

ご挨拶

雲南会会長 西村雄一郎



三刀屋高等学校が開学して九十年の節目を祝う晴れの年を迎えることができました。

十月四日挙行された記念式典や記念事業を始めとする諸事業にご尽力いただいた役員、学校関係者、雲南市、飯南町、奥出雲町の行政やPTAの方々などすべての皆様には、心から御礼申し上げます。さて、卒業生の皆様には、それぞれに思い出が有りと

思います。

皆の記憶に残る野球部の甲子園出場から学園生活の小さなコマまで……皆様の高校生活の一つ一つが、三刀屋高等学校の歴史を作ってきたのだと思います。

島根県立三刀屋高等学校に歴史有り。熱心な先生有り。百人百様、個性あふれる生徒有り。

ともに、開催に向けての関係の皆様のご尽力に敬意とお礼を表したいと思います。

さて、去る十月四日に今年度の雲南会総会と九十周年記念式典を挙行了しました。総会には遠く関東支部からの出席者四名を含む百名の出席者があり、盛大に開催することができました。また、九十周年記念式典では生徒四六七名を含め、七百名を超す参列者の中で九十周年記念式典を挙行できましたことは大きな喜びでした。記念式典やエアコン設置等の記念事業を行うに際し、「創立九十周年記念事業実行委員会」を組織し、ご尽力いただきました雲南会の皆様に厚くお礼申し上げます。

九十周年の時に発刊された五十周年の時に発刊された

それぞれに喜び有り。悲しみ有り。そして希望有り。三刀屋高等学校は私たちを育むゆりかごでした。

そして、これからも雲南の青年のゆりかごであり続けることでしょう。

三刀屋高等学校創立九十周年をとともに祝い、三刀屋高等学校の発展を祈念して挨拶とします。

ご挨拶

校長 恩田佳雄



雲南会の皆様には、平素より母校にご支援と励ましを賜り、厚くお礼申し上げます。

四月に校長に就任しました第二七期の恩田佳雄といえます。よろしくお願いいたします。旧仁多町の出身で、高校時代は出雲八代から国鉄と国鉄バスで三刀屋まで通っていました。島根県の高次の教員になって以来、いつかは母校へと思いがありましたので、この度母校に着任でき、大変嬉しく感じています。

校長に就任以来、地元雲南市の雲南会の支部総会に何回か参加しました。その中の一つ鍋山支部総会が六月二日に二十年ぶりに開催され、高校二期（昭和二五年卒業）から高校五二期（平成十二年卒業）まで、約四十名の参加がありました。「三刀屋高等学校卒業生会鍋山支部会則」が定められ、支部長様をはじめ役員が選出され、平成二六年度の事業計画が承認されました。懇親会は久しぶりの総会開催を祝い、終始和やかな雰囲気、様々な年代の卒業生が親交を深める会となりました。鍋山支部の支部長様をすべての会員の皆様に支部総会開催のお祝いを申し上げます。

「三刀屋高校五十年史」を改めて読み直しましたが、今日を迎えるまでの道のりは、決して平坦なものではなく、特に戦前における本校の歴史は曲折と苦難に満ちたものであったということを再認識しました。

その一端を紹介します。本校創立の胎動は一八九九年、明治三二年までさかのぼります。「県の教育八年計画」が決定され、「県の東部、石見及び雲南に中学校の分校を設立する」ことが決められました。しかし、この決定は様々な事情で、なかなか、実現されず、その間、地元の飯石郡、大原郡、仁多郡あげての熱烈な要請により、二四年後の大正十三年四月十七日に第一回の入学式が行われました。

定員五〇名に対し一六二名の志願者があり、倍率三倍の狭き門をくぐり抜けた五五名の生徒が入学許可を受けました。こうして県下で五番目の中学校、五年制の島根県立三刀屋中学校が開校しました。開校時は四つの教室しかない二階建ての木造校舎で、中学校としては日本一小さい校舎で、大風の日は揺れたと記録されています。

その後、昭和に入ると、いわゆる昭和恐慌が起こり、農村の生活は困窮を極め、生徒募集難に陥り、定員百名は昭和五年には五十名に減っています。昭和六年には中学校整理案が示され、三刀屋中学校は三刀屋農林学校への組織変更も県議会で審議されています。しかし、地元の熱心な存続運動もあり、学校存続の危機を乗り越えています。

この昭和初期に特筆すべきことは、昭和五年に「誠実・剛健」の気風と、「礼儀と規律」を重んじ、「勤労と勉勵」を尊重する校訓が制定され、本校の教育の草創の基盤が確立されたことです。それ以来、生徒と教職員が一体となり、この実践に精進と努力を重ねられ、今日の校風が醸成されました。

日本はその後、日中戦争、太平洋戦争と突入していき、その影響は当然三刀屋中学にも及んできました。夏休みは廃止され、農作業や出征兵士家族への勤労奉仕、精神鍛錬として座禅も行われていました。昭和一八年にはいわゆる「学徒出陣」が始まりました。

「学徒出陣」は、大学生のみならず、中等学校生徒にも及び、本校からも多数の生徒が少年志願兵として出陣し、また、本校の教職員に召集令状が下り、戦場へ赴き、多数の方が戦死されました。また、工場動員も行われ、安来や呉、名古屋の工場へ動員され、事故や空襲で殉職された生徒、教職員もいました。食糧確保のため校庭が農園になり、校舎を取り壊し、工場にしようとする計画も立てられ、実際に一部が取り壊されました。

今年の八月に図書館を整理していますと、戸棚の奥からおそらく、これは、軍事教練で用いたものだと思います。開校の翌年大正一四年から軍事教練が開始され、「教練合格」が卒業の要件となっていました。射撃訓練や手榴弾投げも行われ、野外演習もあり、また、斐伊川の河原でグライ

ダの滑空訓練が行われたと記録されています。このような戦時中の苦難や悲劇を経て、戦後の教育制度改革によって、三刀屋中学校は昭和二三年四月に、島根県立三刀屋高等学校と改称され、翌年から男女共学も始まりました。最初の女子生徒は旧制大東高等女学校からの一三名の転入生だったと記録されています。また、頓原分校や掛合分校の開設も昭和二〇年代に行われました。その後、昭和三〇年代に入ると、定時制や家庭科が廃止され、頓原分校が飯南高校へ吸収され、今日に至っています。

今年創立九十周年に当たる年ではありますが、同時に総合学科十周年の節目の年でもあります。本校の普通科は平成一六年四月に総合学科に改編され、現在の総合学科棟はその翌年の六月に竣工しています。

総合学科は、普通科と専門学科に並ぶ第三の学科として、平成六年度から全国の高校に導入されたもので、現在、約三六〇校の総合学科を持つ高校が全国にあります。総合学科の特徴は、学校により多種多様で、学校の数だけ

特徴があるといっても過言ではありません。三刀屋高校の総合学科を一言で言えば、普通科の内容に加え、体系的なキャリア教育を行う学科であると言えます。座学に加えて、体験的な学習を積み、将来の仕事や大学・短大・専門学校といった上級学校について理解を深めます。一年生の四月には二泊三日のフレッシュマン・セミナーを行い、その中で仕事調べを行っています。十月には地域の協力を得て六五カ所での三日間の「地域産業研究実習」(事業所インターンシップ)を行い、「働くこと」の意義、「現在学んでいること」とのつながりや地域の課題について理解を深めます。十一月には一年生全員で、今年は広島大学へ行き、「大学で学ぶこと」について理解を深める「アカデミック・インターンシップ」を行います。このようなキャリア教育を土台に、生徒たちは二年次の「文系・理系選択」や幅広い選択科目の中から自分で科目を選ぶ「科目選択」を行います。二年生の一〇月には東京へ研修旅行を行い、生徒達は自分たちで選り、電話で訪問の予約をした企業、官公庁、大学等

を訪問し、「仕事」や「上級学校」について理解を深めます。また、二年生の後半から三年生の前半にかけて「課題研究」を行っています。これは、興味を持ったテーマを自分で選び、調査・研究、発表を行うものです。今年のテーマの中には「裁判員制度を身近にするためにはどうすれば良いか」や「雲南市の中高生の本離れについて」など、いずれも現代の様々な問題を高校生視点で調査・研究しようとする意欲的なテーマが多くあります。このような三刀屋高校のキャリア教育は総合学科設置以来、高い評価を得ており、平成二五年二月には「キャリア教育優良学校」として文部科学大臣表彰を受賞しました。

校歌の二番には「社会に立たん、健やかに」と歌われています。これからも総合学科の特色を生かし、キャリア教育の充実を図り、社会に貢献する人材の育成に努めていくことが三刀屋高校に課せられた使命であると認識しています。雲南会の皆様には今後ともご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

創立90周年記念式典



十月四日(土)、三刀屋高校において九十周年記念式典が行われました。当日は一二〇名を超える来賓や雲南会の皆様や保護者の方が来校され本校生徒教職員も合わせると、総勢七百人の出席で盛大に式が行われました。

記念式典では、恩田校長がこの九十年間の本校の歴史について振り返りました。

その内容については、本稿の「校長ご挨拶」にも詳しく述べられておりますのでご覧

ください。式辞の最後には現在では歌われなくなった三刀屋高校応援歌についてふれました。その内容を紹介したいと思います。

『最後に、本校の応援歌を紹介したいと思います。三刀屋高校の応援歌は九つありますが、そのうち七つは旧制中学の時代にできたものです。一九五七年、昭和三二年に新しい応援歌を作る気運が盛り上がり、応援歌の歌詞を生徒、教職員から広く募集することになりました。同年七月に文芸部、演劇部、弁論部に所属していた、伊達耕司さんの作詞による応援歌ができました。この応援歌を歌って式辞を終わりたいと思います。それでは、三刀屋高校の百周年に向けての益々の発展と、何よりも生徒の皆さんが健やかに社会に立たんことを祈念して、

「仰げば 星斗欄干として 永遠の真理を囁き 頭を巡らせば 清流 延々として流れ 我ら若人の意気を語る

ここに島根県立三刀屋高等学校の 九十周年に当たり いざ高らかに称えん哉 歌わん哉

みどりかがよう丘を行き ああ雲南の高台に 友愛匂うわが母校 三高 三高 三高

また、実行委員長西村雄一郎同窓会会長、島根県教育委員会藤原孝行教育長(本校第二六期卒)、来賓速水雄一雲南市長各位にもご挨拶をいただきました。



世紀を担うもの」

応援歌の部分では、一般席に座っておられたOBの中で一緒に口ずさんでおられる方もおり、昔を思い出し懐かしんでおられる様子が伝わってきました。



また、生徒会長の二年上田航平君が生徒代表挨拶を述べ、この九十年の歴史と伝統を誇る三刀屋高校の総合学科でしっかり学び、社会に貢献していきたいと決意を述べました。

当日は、同窓会館「蒼雲

館」が公開され、また本稿図書委員会が制作した九十周年の軌跡を振り返る展示ポスターが掲示されました。本稿の歴史を感じ、祝賀ムードに包まれた一日となりました。

【記念講演】

式典後の記念講演では、島根県出身で全国で活躍しておられる映画監督、脚本家の錦織良成氏が「島根は最先端〜ふる里を誇りに映画を撮る〜」という演題で講演をしていただきました。錦織監督は島根を舞台にした映画を四本撮っておられますが、その中で平成十八年に公開された映画『うん、何?』は、三刀屋高校や雲南の各名所、掛合太鼓などの郷土芸能なども数多く登場しています。

現在東京に住まいを構え活躍しておられる錦織氏ですが、「日本は高度なコミュニケーションと豊かな自然が誇れる国であるが、現代社会の中でそれが崩れつつある。都会の町でも現在必死にコミュニケーションを復活せようとしている。そのような高度なコミュニケーションと豊かな自然が残っているのが島根であり、島根は最先端の郷土であるといえる。普段便利であるもの、憧れに思っているのは本当はそうでないかもしれない、「既成概念」を外して考えることが大事である」というような講演内容でした。

祝賀会は会場をアスパルに移し盛大に行われました。今回の幹事は第三五期の方々で大変お世話になりました。

【記念祝賀会】

祝賀会は会場をアスパルに移し盛大に行われました。今回の幹事は第三五期の方々で大変お世話になりました。



進路指導室だより

進路指導部長

駿馬 敦史

雲南会の皆様におかれましてはますますご清祥でご活躍のこととお喜び申し上げます。また平素は本校の教育に対して格別のご支援を賜り心より御礼申し上げます。

本校は今年九十周年を迎えたわけですが、そのうち総合学科としての歩みも十年を越え現在十一年目に入っています。今春も百四十三名の新入生を迎えさらに充実したキャリア教育を推進しています。この一年生におきましては毎年地域の方や同窓生に大変お世話になっておりますインターシップを「地域産業研究実習」と名称変更し、より地域の課題の発見や解決につながる取り組みにしています。また、アカデミックインターシップというものを取り入れ今年是一年生全員が広島大学に行き、先生方や先輩から学ぶ活動も実施しました。

できました。今後はその学びをポスターセッションで発表したりしながら、自分たちの設定した課題に対する考察を深める「課題研究」に活かしてくれるものと思います。このような活動を通して学びや働くことの意義を考え、現在三年生は進学・就職それぞれの進路を目指し最後の正念場を迎えております。

今年の春は国公立大学に四十一名が進学しました。昨年に続きまして医学部医学科が現役で二名合格し、広島大学や岡山大学にも多数合格しました。また、島根大学や島根県立大学・短大など地元为学校に進学した生徒も多かったです。私立大学も立命館・同志社・関西学院など関西圏私大をはじめ西日本中心に多くの生徒が進学しました。地元に限らず医療系や教育系を目指す生徒が多いのも昨年度の特徴であり、看護系には四大・専門合わせて二十二名、教育保育系には二十名の者が進学しました。それぞれ進学への志望理由は様々ですが、「将来の島根に貢献できる人になりたい」との思いを語ってくれる生徒が多かったです。公私立の短期大や専門学校など職業に直結した進学の道

進学・就職状況

【1】合格者延べ数

() は過年度卒業生の数

	公立大学	私立大学	公立短大	私立短大	看護専門	医療系専門	各種専門	補習科その他	民間就職	公務員	大学校	合計
現役	41	87	7	22	23	9	31	6	13	2	1	242
過卒	(7)	(5)	0	0	0	(1)	0	0	0	0	0	(13)
合計	48	92	7	22	23	10	31	6	13	2	1	255

【2】学部系統別合格者数～合格者延べ数～

() は過年度卒業生の数

4年制大	人文・社会 政治学 法学・ 政治学	経済・ 経営・ 商学	外国語・国際	教育養成・ 保育・ 教育学	理学	工学・工業・ 情報系	農・水産学・ 動物・環境	医・歯・薬	看護学	保健・衛生 (リハビリ・介護)	生活科学・ 栄養学	芸術学・ デザイン	総合科学・ 人間科学	スポーツ	その他	合計
現役	22	6	18	8	14	2	20	6	2	17	8	4		1		128
過卒	(4)	(1)	(2)	(1)	(1)	(3)				(1)						(13)
短大	人文・社会	法学・政治学	経済・経営・ 商学	外国語・国際	教育養成・ 保育・ 教育学	工学・工業・ 情報系	農・水産学・ 動物・環境	医学・歯学	看護学	保健・衛生 (リハビリ・介護)	生活科学・ 栄養学	芸術学・ デザイン	総合科学・ 人間科学	スポーツ	その他	合計
現役	5			2	15	1			1		5					29
専門学校等	人文・社会	法学・政治学	経済・経営・ 商学	外国語・国際	教育養成・ 保育・ 教育学	工学・工業・ 情報系	農・水産学・ 動物・環境	医学・歯学	看護学	保健・衛生 (リハビリ・介護)	生活科学・ 栄養学	芸術学・ デザイン	調理・製菓	公務員養成	その他	合計
現役			2	1	4	7	3		23	13		2	3	1	1	64

選ぶ生徒も多く、キャリア教育の重要性を改めて感じているところ。公務員についても島根県警、松江消防に合格し現在元気に勤務しております。就職についても十三名希望者のうち全員が県内就職しました。この結果は生徒一人ひとりの努力の結果でもありましたが、私は地域や企業のみならずから寄せられる期待とも考えております。今後ともその期待に応えられるよう生徒が成長するきっかけを与えていきたいと思っております。

今社会はまさに激動の時代であり、グローバル化や少子高齢化など十年先が見通せない情勢が続いています。しかし、この三刀屋高校で三年間を過ごした生徒たちは、いかに地域や社会に貢献することが大切であるかということを経験した活動を通して学びました。「貢献」といっても高校卒業後地元へ何かをもちたらずという意味ではありません。それぞれ次のステージで活躍し、何年後でもいいので新たな力を身に付けたうえでこの雲南や島根に新しいエネルギーを与えてもらうことこそ「貢献」ではないかと考えます。島根県の平成二十五年現在の高齢化率は約三十一％で

す。しかし、国も十年後には同様の水準になる（総務省・統計局調べ）という予測もあります。この雲南地域のことを知り、その課題に向き合うことは将来の日本の課題のひとつを見つめることにもつながると考えます。そして、さらに課題意識や視野を広げるためにも国内・国外を問わず実際に自分の足を運んでその課題を実感し、その解決に尽力できる人間になってくれることを願っています。

これからは卒業生が進学先や就職先で、雲南会の諸先輩方のお世話になることがあるうかと思いますが、その時にはどうかよろしくお願い致します。

最後に「卒業生調査アンケート」のお願いです。以前一期生、二期生の総合学科の皆様にご協力をいただきましたが、卒業生アンケートですが、お寄せいただいた回答の一つ一つは大変参考になりました。引き続き三期生、四期生の皆様また、今春卒業されました九期生の皆様にもアンケートを送付したいと考えております。本アンケートにご協力を賜りますようお願い致します。

【3】主な合格校

() 数字は延べ数

平成25年度 国公立大	大阪大、島根大 (医2,看護1,教育3,総合理工1,生物資源1)、広島大 (3)、岡山大学 (8)、山口大 (2)、鳥取大、香川大、愛媛大、高知大、大阪府立大、神戸市立外語大、兵庫県立大、島根県立大 (総合政策3,看護3)、岡山県立大、山口県立大、県立広島大、福山市立大 (2)、下関市立大、鳥取環境大 (2)、高知工科大、北九州市立大 (2)
私立大	同志社大、関西大、立命館大、近畿大学、龍谷大、甲南大 (2)、大阪経済大、駒澤大、東洋大、東京家政大、大東文化大、神戸学院大 (2)、藤田保健衛生大、岡山理科大 (5)、川崎医療福祉大 (3)、広島修道大 (2)、広島工業大 (7)、広島国際大 (2)、安田女子大 (4) など
公私立短大	島根県立大短大部 (保育1,総合文化4,栄養2)、新見公立短大、川崎医療短大、鳥取短大 (3)、比治山大学短大部 (3)、美作短大 (5)、安田女子短大 (2)、山口短大など
看護専門	岡山医療センター附属岡山看護助産学校 (2)、広島県立三次看護専門学校、浜田医療センター附属看護学校 (4)、島根県立石見高等看護学院 (3)、出雲医療看護専門学校 (5)、松江総合医療専門学校 (2) など
医療系専門	島根県歯科技術専門学校 (3)、出雲医療看護専門学校 (5)、神戸医療福祉専門学校など
医療系 以外専門	島根県立東部技術校 (4)、トリフィカレッジ出雲医療福祉専門学校 (4)、島根職業能力開発短期大学校 (4)、松江総合ビジネスカレッジ (3)、山陰中央専門学校 (3)、花園国際美容学院など

【4】職業別就職状況

職 種	男	女	計
専門的・技術的事務			
販売	1	1	2
サービス	1	2	3
保安職員			
農林漁業			
生産工程	4	3	7
輸送・機械運転			
建設・採掘	1		1
運搬清掃等			
その他			
計	7	6	13

【5】地域別就職状況

地 域	男	女	計
雲南・仁多	5	2	7
出 雲	1	2	3
松 江	1	1	2
他 県 内		1	1
広 島			
他 中 国			
四 国			
関 西			
九 州			
関 東			
そ の 他			
計	7	6	13

【6】就職先企業一覧

就職企業	業務内容
株式会社 サンキ	美容師補助
有限会社 玉造皆美	客室係
牧場のパン カウベル	製造・販売
株式会社 長楽園	フロント、客室係
株式会社 都間土建	現場作業
SWS西日本 株式会社	生産ラインオペレーター
有限会社 本田商店	食品製造工
島根イーグル株式会社	現場作業
日本コルマー株式会社	化粧品製造・充填包装仕上
株式会社 JMS出雲工場	生産ラインオペレーター
株式会社 出雲村田製作所	生産ラインオペレーター
株式会社 田部	店舗運営

【7】公務員合格状況

採用種別	H25	H24	H23
島根県職 (一般事務)			
島根県職 (学校事務)			
松江市職			
雲南市職			
松江市消防	1	1	
島根県警	1	1	
自衛隊 (一般曹候補士)		2	1
自衛隊 (二等陸空→自衛官候補生)		2	1
自衛隊 (航空学生)			1
防衛大学校 (理工)			
合 計	2	6	3

平成26年度部活動報告

(4月～11月の主な成績)

運動部

○野球部

●春季高校野球大会／4月19日
 ●県立浜山球場
 2回戦
 三刀屋 4-11 大東
 【7回コールド】

●出雲地区高校野球大会／5月30日～6月1日／県立浜山球場
 三刀屋 7-2 出雲北陵
 三刀屋 0-1 大社

●全国高等学校野球選手権鳥根大会／7月13日～／松江市営野球場・県立浜山球場
 三刀屋 0-22 浜田
 【5回コールド】

●秋季高校野球大会／9月13日～／益田市民球場
 三刀屋 0-2 益田東

●出雲地区高校野球1年生大会／10月18日、25日
 1回戦
 三刀屋 13-2 出雲工業
 【5回コールド】

準決勝
 三刀屋 12-6 出雲西

決勝
 三刀屋 0-3 大社

○陸上競技部

●国体県予選／7月13日／松江市営陸上競技場

●少年B男子走幅跳決勝
 山田 幹 5m51 9位

●少年A男子やり投げ決勝
 景山 渉 33m65 8位

●少年共通男子円盤投げ決勝

●勝葉航平 26m67 7位

●鳥根県高等学校新人陸上競技大会／9月19日～21日／益田陸上競技場
 男子円盤投げ決勝
 勝葉航平 28m33 6位

●出雲陸上競技大会／4月19日～20日／浜山競技場
 一般女子3000m
 松高菜々子 11分38秒11 2位

●県総体／5月30日～6月1日／松江市営陸上競技場(松江市)
 女子3000m決勝
 松高菜々子 11分24秒69 9位

●鳥根県高等学校新人陸上競技大会／9月19日～21日／益田陸上競技場
 男子円盤投げ決勝
 勝葉航平 28m33 6位

●男子ソフトテニス部
 ●中国高校選手権県予選／5月2・3日／浜山公園テニスコート
 団体戦
 三刀屋 0-3 出雲

●県総体／6月5日～7日／松江運動公園テニスコート
 団体戦
 三刀屋 1-2 隠岐島前

●新人戦大会／10月24日～26日／石見海浜公園テニスコート
 個人戦
 梅木大喜・小池祐介
 ベスト32

●団体戦

●女子ソフトテニス部
 ●中国高校選手権県予選／5月2・3日／浜山公園テニスコート
 団体戦
 三刀屋 1-2 松江高専

●県総体／6月5日～7日／松江運動公園テニスコート
 団体戦
 三刀屋 0-3 浜田

●鳥根県高等学校選手権大会／9月20日～21日／浜山公園テニスコート
 個人戦
 森山 葉・北川真実
 ベスト32

●鳥根県高等学校新人戦／10月23日～26日／江津市営テニスコート
 団体戦
 三刀屋 1-2 隠岐

●中国高校バスケットボール選手権大会鳥根県一次予選／4月11日～13日／県立浜田体育館(浜田市)
 1回戦 不戦勝
 2回戦
 三刀屋 104-48 隠岐
 ブロック決勝
 三刀屋 77-50 大社

●【2次予選へ出場】
 ●同二次予選／4月19日～20日／

●松江市総合体育館
 三刀屋 68-85 松江西
 三刀屋 60-69 松江東
 三刀屋 58-63 松江工業
 三刀屋 45-50 出雲北陵

●県総体／6月5日～7日／県立浜山体育館(出雲市)
 1回戦
 三刀屋 72-49 松江南
 2回戦
 三刀屋 76-49 矢上

●準々決勝
 三刀屋 66-58 松江工業
 準決勝
 三刀屋 65-86 松江東
 ベスト4
 ベスト5 巨勢 迅

●長崎国体(がんばらば国体)県選抜として出場
 3年 和田 翔
 1回戦
 鳥根 70-88 長野

●高校バスケットボール選手権大会／11月7日～9日／県立浜山体育館(出雲市)
 1回戦
 三刀屋 83-68 大東
 2回戦
 三刀屋 91-51 松江南

●準々決勝
 三刀屋 57-55 出雲工業
 準決勝
 三刀屋 72-106 松江西

●第3位 20年ぶり
 ベスト5 和田 翔

●女子バスケットボール部
 ●県総体／6月5日～6日／県立浜山体育館(出雲市)
 1回戦
 三刀屋 96-15 隠岐島前
 2回戦
 三刀屋 31-76 益田

●高校バスケットボール選手権

●大会／11月7日／県立浜山体育館(出雲市)
 1回戦
 三刀屋 48-82 松江農林

●男子ソフトボール部
 ●中国高校選手権県予選／4月20日／松江南高校
 決勝
 三刀屋 6-2 安来

●中国大会出場
 ●中国高校選手権／5月9日～10日／やまぐちリフレッシュパーク(山口市)
 1回戦
 三刀屋 0-4 新見

●県総体／6月7日／出雲高校(出雲市)
 決勝
 三刀屋 8-3 安来

●全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会 14年連続全国高校総体出場／8月5日～8月10日／保土ヶ谷神奈川新聞スタジアム(神奈川県横浜市)
 1回戦
 三刀屋 0-1 日向高校(鳥根代表) (宮崎代表)

●高等学校ソフトボール選手権大会／9月14日／出雲商業高校グラウンド
 三刀屋 3-7 安来

●鳥根県高等学校新人ソフトボール大会／10月26日／江津高校グラウンド
 三刀屋 4-8 安来

●【中国大会出場権獲得】
 ●中国高等学校ソフトボール新人大会／11月15日～16日／岡山市美咲町中央運動公園
 三刀屋 0-7 笠岡工業(岡山)

●

○女子ソフトボール部

●中国高校選手権県予選／4月19日／松江南高校(松江市) 2回戦 三刀屋 2-19 大東

●県総体／6月7・8日／出雲高校(出雲市) 【5回コールド】 1回戦 三刀屋 7-0 安来

2回戦 三刀屋 4-3 大東
準決勝 三刀屋 3-1 浜田商業
決勝 三刀屋 6-2 松江商業

●全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会／7月28日／8月4日／神奈川県立保土ヶ谷公園(神奈川県横浜市)

2回戦 三刀屋 0-7 神奈川高等部 (鹿児島県)

●鳥根県高等学校ソフトボール選手権大会／9月13・14日／出雲商業高校 一次トーナメント2回戦 三刀屋 23-0 松江商業 【5回コールド】

決勝リーグ 第1試合 三刀屋 9-0 出雲商業 【5回コールド】

第2試合 三刀屋 11-1 大東 【5回コールド】

優勝 ●鳥根県高等学校新人ソフトボール大会／10月24日～26日／江津高校 2回戦

三刀屋 9-0 松江商業 【5回コールド】

準決勝 三刀屋 16-1 大社 【5回コールド】

決勝 三刀屋 4-1 大東

優勝 ●中国大会ならびに選抜大会出場権獲得
●中国高等学校ソフトボール新人大会／11月15～16日／岡山市久米南町民運動公園 三刀屋 0-6 鳥取城北 (鳥取)

○卓球部

●県総体／5月30日～31日／県立浜山体育館(出雲市)

男子団体 1回戦 三刀屋 2-3 津和野
女子団体 1回戦 三刀屋 0-3 安来

●高等学校卓球選手権大会／9月12・13日／金城町総合体育館 女子シングルス 3回戦進出 高花菜摘

●高等学校新人卓球大会／11月6～8日／平田体育館(出雲市) 女子シングルス 3回戦進出 高花菜摘、佐々木優

○剣道部

●中国高校選手権県予選／4月18～20日／県立浜田体育館(浜田市) 男子団体 2回戦 三刀屋 1-2 松江高専

●県総体／6月6・7日／松江市総合体育館(松江市)

男子団体 1回戦 三刀屋 1-3 浜田

●高等学校選手権大会／11月1日～2日／大田市総合体育館 男子団体 1回戦 三刀屋 ×-0 飯南

○柔道部

●中国高校選手権県予選／4月19～20日／県立武道館(松江市) 男子団体戦 三刀屋 2-4 松江高専

●県総体／5月30・31日／県立武道館(松江市) 男子団体戦 三刀屋 3-2 隠岐水産
三刀屋 0-5 出雲工業

○サッカー部

●県総体／5月30日～6月1日／益田高校(益田市) 1回戦 三刀屋 0-2 松江高専

文化部

○書道部

●高文連書道コンクール／5月29～31日／三瓶青少年交流の家(大田市) 特選 妹尾有真 秀作 神田亜林 佳作 廣澤真奈

●鳥根県高校書道展／10月27日／鳥根県立美術館(松江市) 平成27年度 全国総文祭滋賀大会推薦 1年 妹尾有真 奨励賞 神田亜林

入選 廣澤真奈 西村美夏 黒目麻友

○美術部

●高文連出雲地区絵画コンクール／10月24日／出雲大社 入選 上田千浩・高野寛子 金築由依・神庭志帆 門脇宥紀業・黒目麻友 茂富楓・荒金恵美 景山大輝・中林良輔 森脇咲子

○写真部

●高文連写真専門部春季写真コンクール／6月13日／松江南高校 特選 7点 穴戸由佳・坪倉翔太 原 輝栄・毛利奈緒 荒金恵美

○文芸部

●鳥根県文化祭文芸公募／10月29日 (詩・一般の部) 入選

2年 幸村蒼依 「鳥根文芸」第47号(12月発行) 掲載予定

○茶道部

●高文連自然科学部門実験観察研修会／7月4～5日／グラントワ(益田市) 科学ショー ポスター発表 サイエンス工房 サイエンスカフェ 自然科学部科学チャレンジ 3位入賞 講演会

○放送部

●高等学校放送コンテスト県大会／6月10日／松江ステイックビル 朗読部門 藤原香玲羅 研究発表部門 「テップ時代の編集機を再利用」 浜田高校と同点2位、細則により最終3位

○演劇部

●鳥根県高等学校演劇発表会／10月31日～11月2日／鳥根県民会館

○吹奏楽部

●全日本吹奏楽コンクール鳥根県大会／8月12日／出雲市民会館 高等学校Aの部 銀賞

○箏曲部

●鳥根県高等学校文化連盟 日本音楽部門コンクール／10月31日／ビッグハート(出雲市)

○音楽

●JRC 第5回赤十字救急法競技大会／11月3日／松江市県立武道館

1年生地域産業研究実習

10月15日(水)～17日(金)

1年生は上記の3日間、雲南市・奥出雲町・出雲市・松江市内の67の事業所にご協力いただき、「地域産業研究実習」を行いました。1学期から、地域産業の強みや弱みなどを考えることにより、より深く調べてみたいことや課題点をあげるなど、2学期の実習に向けて、課題意識を持つ準備ができました。この3日間の活動により、「地域産業」の強みや弱みを実感し、さらに課題意識を高めただろうと思います。また、自分自身の将来の見通しを考えるきっかけもつかんでもらいたいと思います。

「地域産業研究実習」までの活動

- 9月3日(水) オリエンテーション、研修先ごとの顔合わせ、班長決めなど
- 9月10日(水) マナー講座
- 9月17日(水) 研修先への電話
- 9月24日(水) (事前打ち合わせのためのアポイントメント) 研修先についてパソコンや資料で調べる。

- 9月18日(木) 事前打ち合わせの内容確認、最終確認。
- 10月8日(水) 研修先との事前打ち合わせ。
- 10月14日(火) インターシップ結団式



「地域創生」という言葉を安部首相が掲げ、これから地域の活性化や若者の活躍する場を設けることなどに力が注がれていくことになるようです。「地域課題」に目を向け、それを解決していくためにはどうすればよいか考えることは、本校の「産業社会と人間」や2年次以降の「課題研究」でも取り入れています。「地域課題」について考えるとき、地域だけに目を向けて解決の糸口が見つかるでしょうか。「地域課題」を考えることは、日本や世界の課題を考慮することに通じている、という視点も忘れてはなりません。「ローカル」な視点と「グローバル」な視点は、どこかでつながっています。そのような両極端と見られる視点から、物事をとらえたり、課題テーマについて考えていくなど、多面的に物事をとらえることが、高校を卒業してからにも必ず役に立ちます。実習や自主研修では、多くの体験をしたり、様々な方々の話を聴いたりすることができ、様々な視点から物事を見ることの大切さを実感してもらいたいと思います。(キャリア担当 門脇 勲)

2年生研修旅行

10月13日(月)～16日(木)

三刀屋高校総合学科十期生となる今年の2年生も無事に研修旅行を終えることができました。今年度は、10月13日から16日の行程でしたが、ちょうど出発当日は台風十九号が本土に上陸しており、飛行機の運航を非常に心配しておりましたが、台風の接近から逃げるように飛行機は飛び立ち、無事東京入りを果たすことができました。

今年度のイブニングセミナー(卒業生講演会)には、JR東日本勤務の古林秀之さん(第46期卒業生)をお迎えし、お話を聞いていただきました。



講演内容は、高校時代にバスケットボール部と勉強を両立していたこと、大学時代のこと、社会人になり様々な経験した20代のこと、現在取り組んでいるプロジェクトのことなど多岐に渡りました。途中では、JR東日本クイズなども交えて、景品にはJR東日本のスイカペンギングッズも提供していただき、生徒も大変喜んでいました。自分の夢を実現するための心構えや「本気で打ち込んだ経験が、

自信や人間の幅、ひいては将来の可能性につながる。」などといった、物事への

取り組み方など後輩に向けて熱く語っていただきました。生徒たちも大いに刺激を受けたようで、「三高出身の方が、東京で活躍されていることを知り、自分にも可能性があることが分かり、頑張ろうと思った。」「先輩の話だったので、気持ち的に近い位置で話が聞けた。」「将来のことを今からしっかり考えておかないといけない」と改めて思っています。などといった感想を述べていました。

これからも雲南会の皆様との「つながり」を大切にして生徒の進路実現をサポートしていきたいと思っています。今年度の研修旅行の日程は次のとおりでした。

◆10月13日(月) 1日目

文理分かれて出雲・米子より出発し羽田に着。その後、バスで国立科学博物館へ。午後三時半、ホテルフロラシオン青山に到着し、「イブニングセミナー」を実施しました。



◆10月14日(火) 2日目

志望別に「企業・学校訪問」に5コースに分かれて出かけました。コースは①東京

大学・国会コース②東京学芸大学・Jプレゼンスアカデミー③NHKスタジオパーク・JICA地球ひろば④聖路加国際大学・国際労働機関⑤東京工業大学・ANA機体整備工場でした。

◆10月15日(水) 3日目

この日は「班別自主研修」でした。全三十八班に分かれ、自分たちで選んだ訪問先を訪ねていきました。訪問先の一例としては、警視庁、文部科学省、法務省、品川区教育委員会、荒川区防災センター、タニタ食堂、ミズノ、講談社などです。



「リトルマーメイド」を観劇しました。

◆10月16日(木) 4日目

東京デイズニerlandで一日過ごした後、最終便で出雲空港へ帰りました。



事務局便り

* 支部総会開催 *

今年も支部総会が各地で盛大に開催されました。今年には三刀屋高校創立90周年の年ということもあり記念式典や名簿の事などを総会で了承していただきました。また、懇親会については笑いあり、歌ありの支部もあり三刀屋高校で過ごされた青春時代を思い出しながら楽しく過ごされました。

支部名	支部長名	開催日	場 所
鍋山支部	谷戸 邦夫様	6月21日(土)	鍋山交流センター
三刀屋支部	景山 寛様	7月5日(土)	レストランまるや
日登支部	藤原 政文様	7月26日(土)	日登交流センター
大阪支部	城角 直司様	9月7日(日)	大阪弥生会館
木次支部	出雲 孝悦様	9月26日(金)	八日市交流センター
斐伊支部	佐藤 幸男様	9月27日(土)	斐伊交流センター
東京支部	岩佐壮四郎様	11月15日(土)	イタリアンレストラン「カレンダー」

次年度も各地区で開催される予定ですので、ご参加いただき旧交を暖めていただければと思います。なお、三刀屋高校内雲南会事務局（学校代表0854-45-2721）に連絡していただければ各支部総会の予定等お伝えいたします。お気軽にお問い合わせください。

また、三刀屋高校ホームページ（サイトメニューの卒業生会）にて紹介しておりますのでご覧ください。

90周年記念号 第35号 名簿発刊

H25年12月より発刊の準備をすすめておりました、90周年記念号第35号を無事発刊しました。会員の皆様にはご協力を頂きありがとうございました。発刊にあたり、賛助金を頂いた方には名簿芳名録への掲載によってお礼にかえさせていただきます。ありがとうございました。

H25年度「雲南会活動協力金」ご報告

H26年3月31日現在
700名 1,433,400円

振り込み頂きました協力金はH26年度の会計に繰り入れ、今後の活動経費に充てさせていただきます。ご協力いただいた方には芳名録（別紙）への掲載によってお礼にかえさせていただきます。ありがとうございました。H26年度も引き続き活動協力金を募ります。100周年に向け雲南会も積極的に活動していきたいと思っておりますのでご協力お願いします。

平成25年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計決算書

【収入の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(-)	摘 要
入 会 金	2,580,000	2,535,000	45,000	年会費5,000円
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高25期、高35期、高45期の皆様より
雑 収 入	1,000	88	912	預金利息
合 計	3,031,000	2,985,088	45,912	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額			決 算 額	予算残額	摘 要
	当 初	流用・充当	現 額			
総 会 費	585,000	0	585,000	585,000	0	高34期主催
支 部 総 会 費	240,000	0	240,000	210,000	30,000	東京、大阪、三刀屋、木次、日登、西日登、斐伊
活 動 費	555,000	0	555,000	554,875	125	同窓会会報発送費（H24会報分）
印 刷 費	170,000	35,254	205,254	205,254	0	同窓会会報印刷14,000部（H25会報分）
役 員 会 費	65,000	0	65,000	39,760	25,240	会議費等
卒 業 記 念 品	99,104	0	99,104	99,104	0	証書入れケース175本
慶 弔 見 舞 金	40,000	0	40,000	38,126	1,874	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	0	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	30,000	0	30,000	22,700	7,300	切手、はがき代、送料
旅 費	770,000	0	770,000	670,974	99,026	総会、東京・大阪支部総会出席旅費
事 務 費	30,000	0	30,000	3,360	26,640	総会用文具購入
雑 費	100,000	0	100,000	73,640	26,360	新聞広告費等
予 備 費	46,896	-35,254	11,642	0	11,642	
合 計	3,031,000	0	3,031,000	2,802,793	228,207	

差引残高：2,985,088円-2,802,793円=182,295円・・・特別会計へ

上記監査の結果内容の正確なる事を認めます。

平成26年7月17日

監事 多田納力

監事 櫻井伸一

平成25年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 特別会計決算書

【収入の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	比較増減 (-)	摘 要
前年度繰越金	6,197,551	6,197,551	0	
繰 入 金	280,016	280,016	0	前年度一般会計残金
雑 収 入	1,433	890	543	預金利息
合 計	6,479,000	6,478,457	543	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	予算残額	摘 要
激 励 金	500,000	340,000	160,000	中国・全国大会出場(男女ソフト、柔道、陸上、男バスケット、放送、文芸)
補 助 金	50,000	11,750	38,250	雲南会総会への補助金
予 備 費	5,929,000	1,500,263	4,428,737	H25同窓会会報経費補助
合 計	6,479,000	1,852,013	4,626,987	

収入総額 6,478,457

支出総額 1,852,013

4,626,444 次年度繰越金 4,626,444円

上記監査の結果内容の正確なる事を認めます。

平成26年7月17日

監事 多田 綱 力

監事 櫻井 伸 一

平成26年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計予算書

【収入の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減 (-)	摘 要
入 会 金	2,340,000	2,580,000	-240,000	1年5,000円×143人、2年5,000円×167人、3年5,000円×158人
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高26期、高36期、高46期の皆様より
活 動 協 力 金	1,433,400	0	1,433,400	活動協力金(3月31日現在)
雑 収 入	1,000	1,000	0	預金利息
合 計	4,224,400	3,031,000	1,193,400	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減 (-)	摘 要
総 会 費	585,000	585,000	0	総会経費、チケット代(招待者分)、高35期へ
支 部 総 会 費	240,000	240,000	0	大阪、東京、三刀屋、木次ほか
活 動 費	1,300,000	555,000	745,000	同窓会会報発送費・サラト
印 刷 費	220,000	170,000	50,000	同窓会会報印刷・木次印刷
役 員 会 費	50,000	65,000	-15,000	各種会議費等
卒 業 記 念 品	89,414	99,104	-9,690	証書入れケース177本
慶 弔 見 舞 金	20,000	40,000	-20,000	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	30,000	30,000	0	郵券代ほか
旅 費	750,000	770,000	-20,000	総会、支部総会(大阪・東京)、会議等出席
事 務 費	10,000	30,000	-20,000	事務用品
雑 費	100,000	100,000	0	野球新聞広告費など
予 備 費	529,986	46,896	483,090	
合 計	4,224,400	3,031,000	1,193,400	

平成26年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 特別会計予算書

【収入の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減 (-)	摘 要
前年度繰越金	4,626,444	6,197,551	-1,571,107	
繰 入 金	182,295	280,016	-97,721	前年度一般会計残金
雑 収 入	1,261	1,433	-172	預金利息
合 計	4,810,000	6,479,000	-1,669,000	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	予算残額	摘 要
激 励 金	500,000	500,000	0	中国・全国大会出場激励金
補 助 金	50,000	50,000	0	雲南会総会への補助金
繰 出 金	2,000,000	0	2,000,000	創立90周年事業・負担金
予 備 費	2,260,000	5,929,000	-3,669,000	
合 計	4,810,000	6,479,000	-1,669,000	